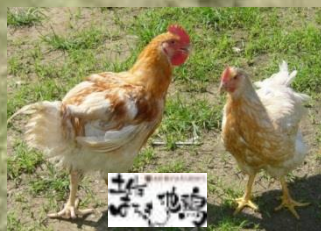


# 大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略

## <概要>

離島を除く

全国最少人口の自治体  
大川村の挑戦！



高知県大川村

# 大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成

全国最少人口の自治体（離島を除く）  
高知県大川村の挑戦！

## I 大川村の現状と目指すべき方向

### 1 大川村の現状

- 人口動態（自然増減、社会増減）の状況と分析
- 人口減少による影響と将来人口の推計

### 2 目指すべき方向

- 人口の将来展望（2060年）と目指すべき姿

#### 目指す将来像

人口400人の維持による「住んで良かった、住んでみたい」大川村

## II 総合戦略の位置づけと地方創生に向けた基本的な考え方

### 1 総合戦略の位置づけ

- これまでの取り組みと総合戦略の策定

### 2 地方創生に向けた基本的な考え方

総合戦略における最重要目標 ➡ **人口400人の維持**

#### ◇しごとづくり

**基本目標1** 地域産業の振興により雇用を創出する

#### ◇人の流れづくり

**基本目標2** 村への新しい人の流れをつくる

#### ◇子どもの育成と支え合いの村づくり

**基本目標3** 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、村民みんなで子どもを育て支え合う村をつくる

#### ◇暮らしづくり

**基本目標4** 集落再生の仕組みづくりにより村民の暮らしを守る

### 3 総合戦略の計画期間

- 平成27年度から平成31年度の5年間

## III 総合戦略の効果的な推進

### 1 総合戦略の推進に当たってのポイント

- 様々な団体・組織との連携
- 小さな村だからこそ可能な自助・共助の仕組みづくり
- 既存システムにとらわれない新たな仕組みの導入
- 既存の第三セクターの機能拡大
- 県と連携・協調した取り組み ➡ **大川村プロジェクトの推進**

### 2 進捗管理体制

- 産業分野や金融機関などの関係団体で構成する「大川村総合調整審議会」においてPDCAサイクルによる取り組み状況を点検・検証
- ⇒ 戦略の見直しやバージョンアップ等を実施

## IV 基本目標と基本的方向、具体的な施策

### 【基本目標と基本的方向】

#### 基本目標1

#### 地域産業の振興により雇用を創出する

##### 数値目標

各産業分野における産出額等の増加

##### 基本的方向

#### 一次産業を核とした地産の強化と外商の推進

- 農業を魅力ある産業として発展させ、所得の向上を図り、担い手を育成する
- 森林組合の経営改善や機能強化を図り、雇用の確保や林業後継者を育成する
- 土佐はちきん地鶏と大川黒牛の生産・販売の拡大を図り、雇用を創出する
- 村の特性や地域資源を生かした観光の取り組みを強化し、交流人口を拡大する
- 村の基幹団体である大川村ふるさとむら公社と(株)むらびと本舗の機能を強化する

#### 基本目標2

#### 村への新しい人の流れをつくる

##### 数値目標

人口の社会増減のプラス化

##### 基本的方向

#### 産業振興の取り組み等と連動した村への人の流れの推進

- 村営住宅を整備するとともに、移住（U・Iターン等）・定住・永住を推進する
- 情報発信機能を強化し、既存のネットワークや大学等との交流を推進する
- 山村留学など村外との交流の取り組みを充実化する

#### 基本目標3

#### 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、村民みんなで子どもを育て支え合う村をつくる

##### 数値目標

子どもの出生数の増加、20～40歳代の未婚率の減少

##### 基本的方向

#### 結婚・子育て環境の整備と村民の支え合いの推進

- 男女の出会いの機会づくりを進めるとともに、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進する
- 小中一貫教育の推進やコミュニティスクール、山村留学を推進する
- 保小中の連携教育を推進・強化する
- 高齢者の社会参加を推進し、生きがいづくりにつなげる

#### 基本目標4

#### 集落再生の仕組みづくりにより村民の暮らしを守る

##### 数値目標

集落活動センターの利用者数の増加

##### 基本的方向

#### 集落活動センターを核とした集落の活性化と村民生活の向上

- 集落の維持・活性化に向けて集落活動センターを整備し、取り組みを強化する
- 村内道路網の整備や公共交通の利便性の向上、情報通信網の整備及び活用を図る
- 防災力の強化による大規模災害への備えを進める
- ゴミ処理対策等に向けた取り組みの強化やエコエネルギーの活用を図る

### 【具体的な施策】

それぞれの施策で  
KPIを設定

#### (1) 農業の振興

- ・強くたくましい地域農業づくり
- ・有害鳥獣被害対策

#### (2) 林業の振興

- ・森林組合の機能強化
- ・山林の環境保全

#### (3) 畜産業の振興

- ・土佐はちきん地鶏の振興
- ・大川黒牛の振興

#### (4) 観光・商工の振興

- ・地域資源を生かした観光の振興
- ・商工の振興
- ・交流人口の拡大（再掲）

#### (5) 村関係団体の役割強化

- ・大川村ふるさとむら公社と(株)むらびと本舗の機能強化



大川黒牛

#### (1) 移住・定住・永住の促進

- ・村営住宅の整備
- ・移住（U・Iターン等）の推進
- ・定住と永住に向けた取り組み

#### (2) 交流人口の拡大

- ・情報発信機能の強化
- ・既存ネットワークや大学等との交流の推進

#### (3) 山村留学の推進

- ・ふるさと(山村)留学など村外との交流の取り組みの充実化



大川村ふるさと留学

#### (1) 子どもが健やかに育つための環境づくり

- ・男女の出会いの機会づくり
- ・地域全体で子どもを育てる社会づくり

#### (2) 確かな学力向上を目指す学校教育の推進

- ・小中一貫教育の推進
- ・地域と連携した教育の推進
- ・山村留学の推進（再掲）

#### (3) 強い子育てを育てる幼児教育の推進

- ・保小中の連携教育への取り組み

#### (4) 高齢者の生きがいづくり

- ・高齢者の社会参加の推進



大川小中学校

#### (1) 集落活動センターの整備と取り組みの強化

- ・地域の支え合い機能の維持
- ・生活物資や水の確保
- ・集落支援員制度の活用

#### (2) 快適な交通と通信の整備

- ・村内道路網の整備推進
- ・公共交通の利便性向上
- ・情報通信網の整備と活用

#### (3) 防災・防犯能力の強化

- ・防災力強化による大規模災害への備え
- ・犯罪と交通事故ゼロの村づくり

#### (4) 自然環境に優しい村づくり

- ・ゴミ処理対策
- ・合併処理浄化槽普及に向けた取り組み
- ・エコエネルギーの活用



大川村集落活動センター  
結いの里



## 村の概況

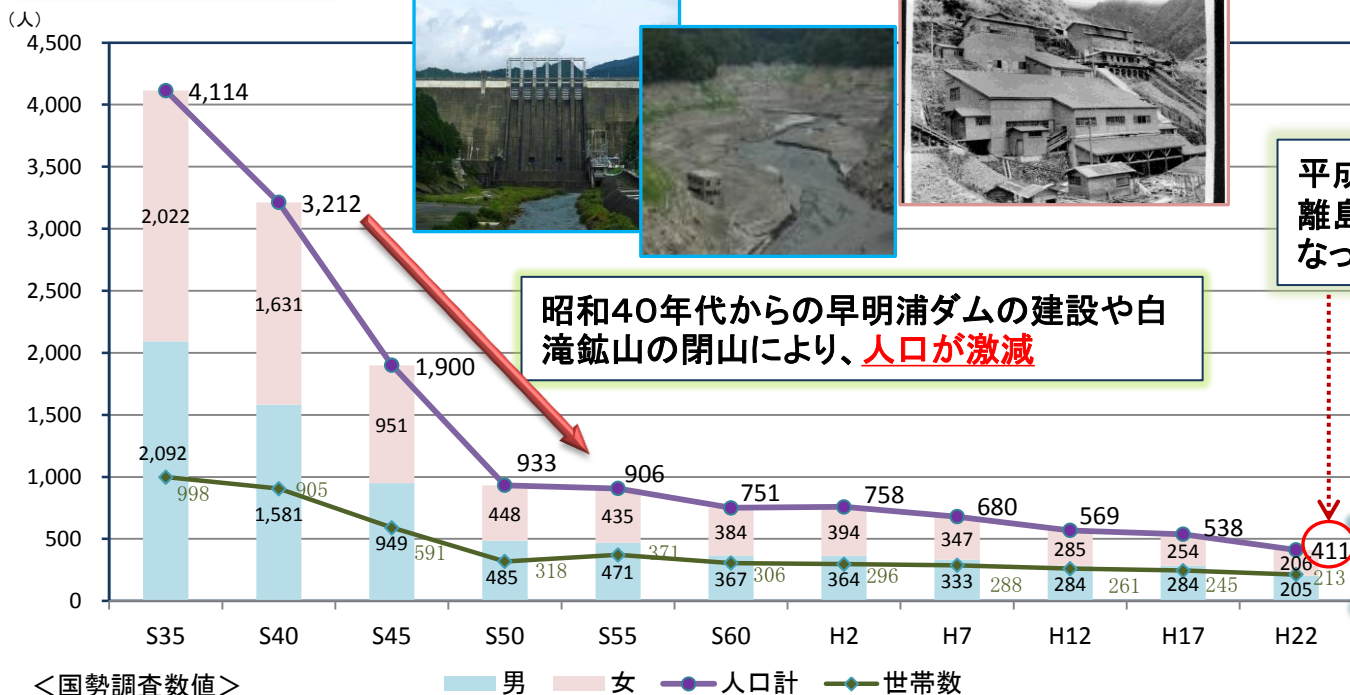
大川村は、四国山地の中央部、高知県の最北端に位置し、東西15.5km、南北9.4km、面積は95.27km<sup>2</sup>で、北は愛媛県に接している。村の中央を吉野川が貫く形で東西に流れ、村の約9割は険しい山地となっており、平坦地が極めて少ない山村である。

昭和40年代からの早明浦ダムの建設や白滝鉱山の閉山による人口流出、基幹産業である林業の低迷、さらに過疎化・少子高齢化の影響等で村の人口は411人と、離島を除き全国最少人口の自治体となっており、将来にわたって村を存続していくためには、農林業などの産業振興による雇用創出を中心とした人口減少対策が喫緊の課題である。



人口 (H22国勢調査)	高齢化率 (H27.4末現在)	世帯数 (H27.4末現在)	基幹産業	児童生徒数 (H27.4.1現在)
411人	45.2%	229世帯	林業、畜産業	34人 (うち山村留学生13人)

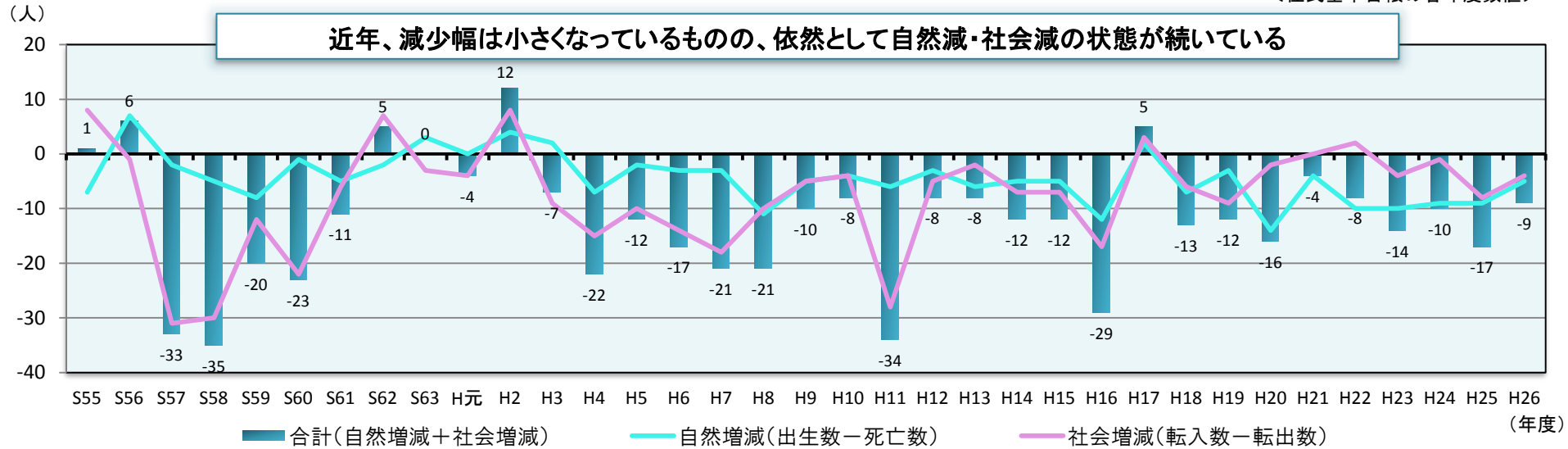
## 人口の状況



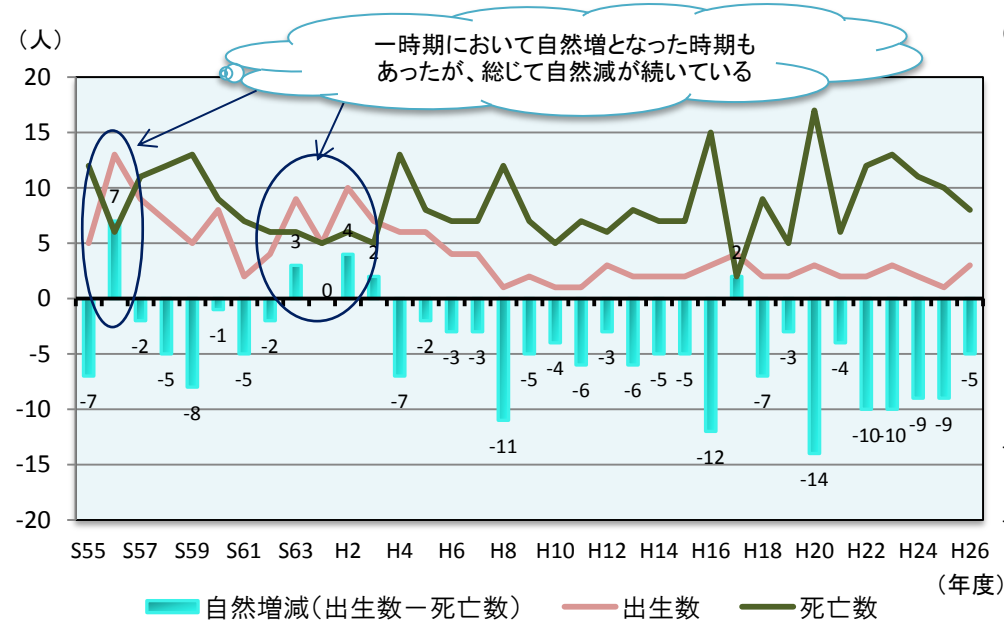
# 人口動態

＜住民基本台帳の各年度数値＞

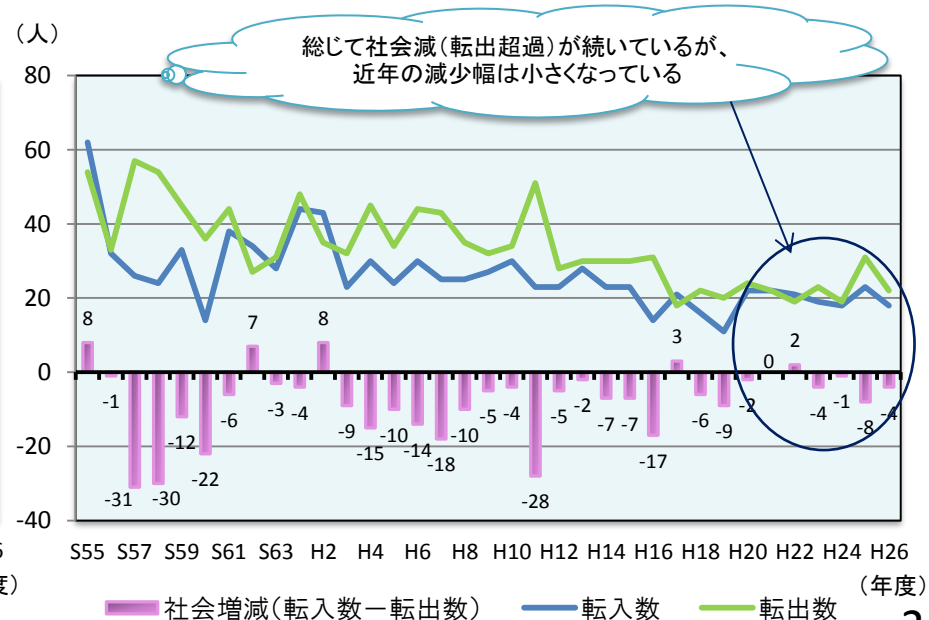
近年、減少幅は小さくなっているものの、依然として自然減・社会減の状態が続いている



## 自然増減



## 社会増減





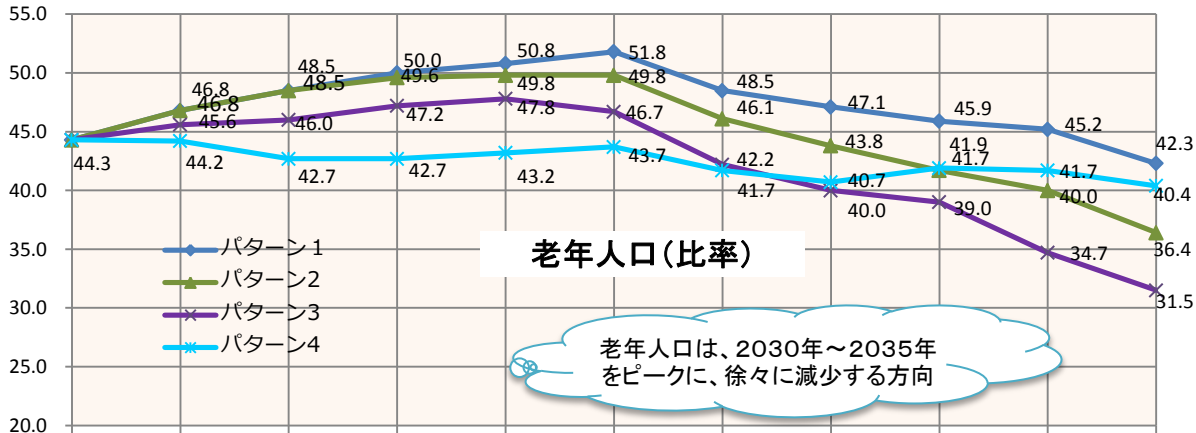
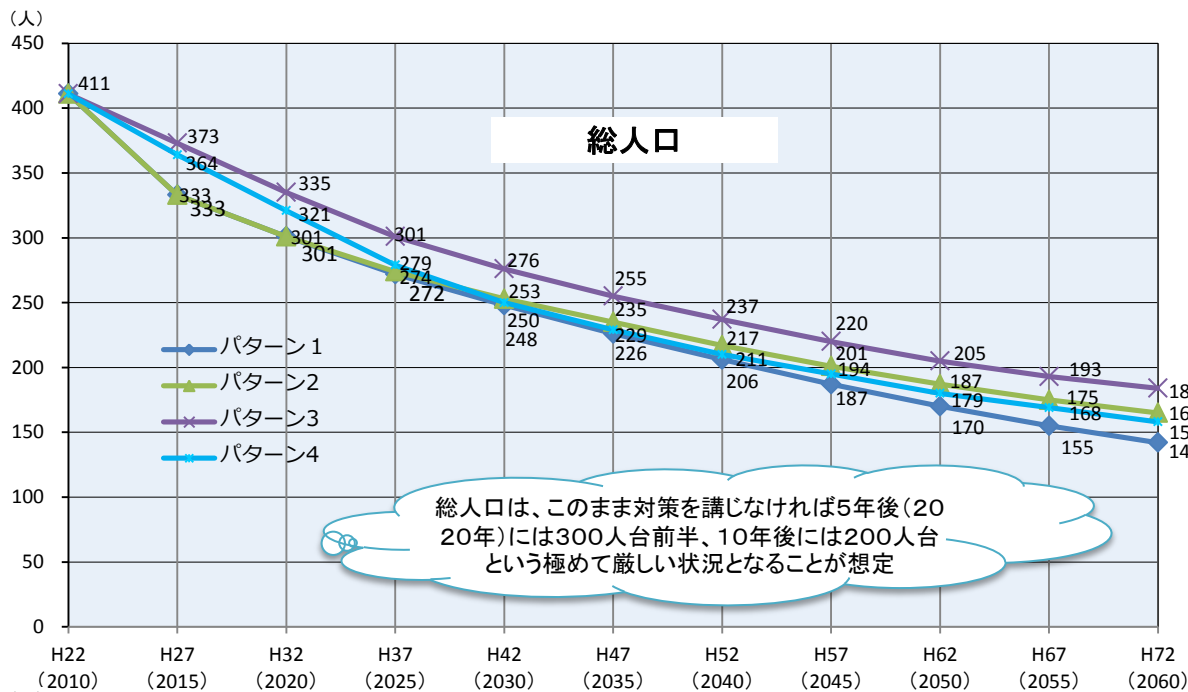
# 将来人口の推計

パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

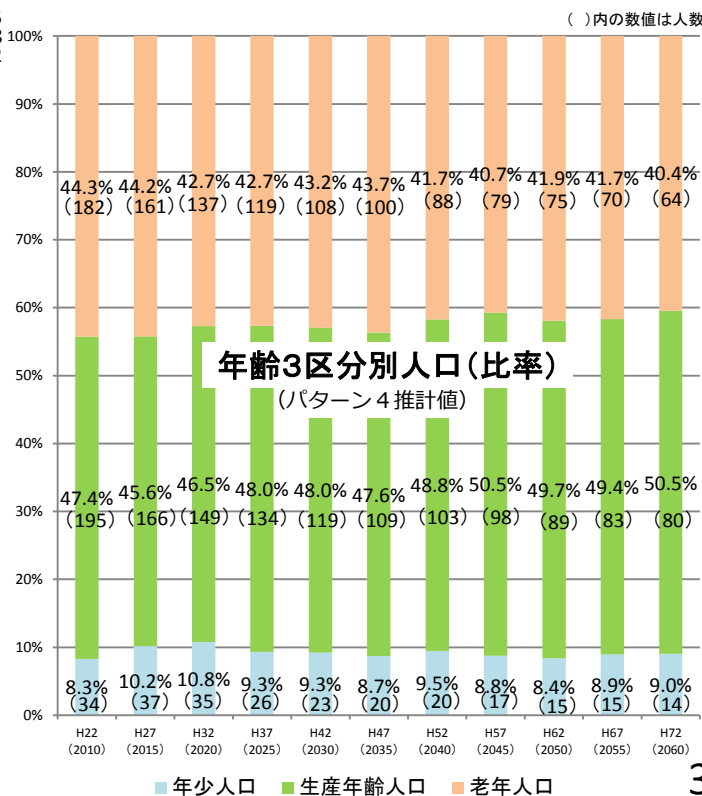
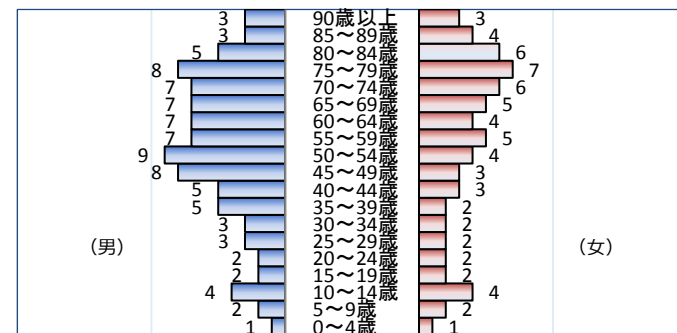
パターン2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.07）まで上昇したとした場合の推計

パターン3：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.07）まで上昇、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合の推計

パターン4：国勢調査を基にしたコーホート変化率法による推計（大川村推計）



2060年(H72年)人口ピラミッド (パターン4 推計値)



# まち・ひと・しごと創生に向けた基本的な考え方

## 目指す将来像

人口400人の維持による「住んで良かった、住んでみたい」大川村

## 基本目標

総合戦略における最重要目標



人口400人の維持

### しごとづくり

村の特性や地域資源を最大限に生かし、基幹産業である第一次産業をはじめとする地域産業の振興を図り、雇用を創出する。

基本目標1

地域産業の振興により雇用を創出する

### 人の流れづくり

産業振興の取り組みと連動した移住促進や交流の推進などにより、地域産業や集落の担い手となる多くの人材を村に呼び込む。

基本目標2

村への新しい人の流れをつくる

### 子どもの育成と支え合いの村づくり

若い世代の結婚・子育て等の希望をかなえ、村の次代を担う子どもたちを村民全体で育成しながら、地域地域で村民が支え合う村づくりを推進する。

基本目標3

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、村民みんなで子どもを育て支え合う村をつくる

### 暮らしづくり

村内の各集落を維持し、活性化するとともに、全ての村民が快適で安心した生活ができるように、生活環境の整備を進め、暮らしを守る。

基本目標4

集落再生の仕組みづくりにより村民の暮らしを守る

# 4つの基本目標と基本的方向

## 基本目標1 地域産業の振興により雇用を創出する

### 数値目標

各産業分野における産出額等の増加

### 基本的方向

#### 一次産業を核とした地産の強化と外商の推進

- (1) **農業の振興**
  - 農業を魅力ある産業として発展させ、所得の向上を図り、担い手を育成
- (2) **林業の振興**
  - 森林組合の経営改善や機能強化を図り、雇用の確保や林業後継者を育成
- (3) **畜産業の振興**
  - 土佐はちきん地鶏と大川黒牛の生産・販売の拡大を図り、雇用を創出
- (4) **観光・商工の振興**
  - 村の特性や地域資源を生かした観光の取り組みを強化し、交流人口を拡大
- (5) **村関係団体の役割強化**
  - 村の基幹団体の大川村ふるさとむら公社と(株)むらびと本舗の機能を強化

## 基本目標2 村への新しい人の流れをつくる

### 数値目標

人口の社会増減のプラス化

### 基本的方向

#### 産業振興の取り組みと連動した村への人の流れの推進

- (1) **移住・定住・永住の促進**
  - 村営住宅を整備するとともに、移住(U・Iターン等)・定住・永住を推進
- (2) **交流人口の拡大**
  - 情報発信機能を強化するとともに、大学等との交流を推進
- (3) **山村留学の推進**
  - ふるさと留学など村外との交流の取り組みを活発化

## 基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、村民みんなで子どもを育て支え合う村をつくる

### 数値目標

子どもの出生数の増加、20～40歳代の未婚率の減少

### 基本的方向

#### 結婚・子育て環境の整備と村民の支え合いの推進

- (1) **子どもが健やかに育つための環境づくり**
  - 男女の出会いの機会づくりを進めるとともに、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進
- (2) **確かな学力向上を目指す学校教育の推進**
  - 小中一貫教育の推進やコミュニティスクール、山村留学を推進
- (3) **強い子を育てる幼児教育の推進**
  - 保小中の連携教育を推進・強化
- (4) **高齢者の生きがいづくり**
  - 高齢者の社会参加を推進し、生きがいづくりにつなげる

## 基本目標4 集落再生の仕組みづくりにより村民の暮らしを守る

### 数値目標

集落活動センターの利用者数の増加

### 基本的方向

#### 集落活動センターを核とした集落の活性化と村民生活の向上

- (1) **集落活動センターの整備と取り組みの強化**
  - 集落の維持・活性化に向けて集落活動センターを整備し、取り組みを強化
- (2) **快適な交通と通信の整備**
  - 村内道路網の整備や公共交通の利便性の向上、情報通信網の整備及び活用の推進
- (3) **防災・防犯能力の強化**
  - 防災力の強化による大規模災害への備えを推進
- (4) **自然環境に優しい村づくり**
  - ゴミ処理対策等に向けた取り組みの強化やエコエネルギーの活用の推進



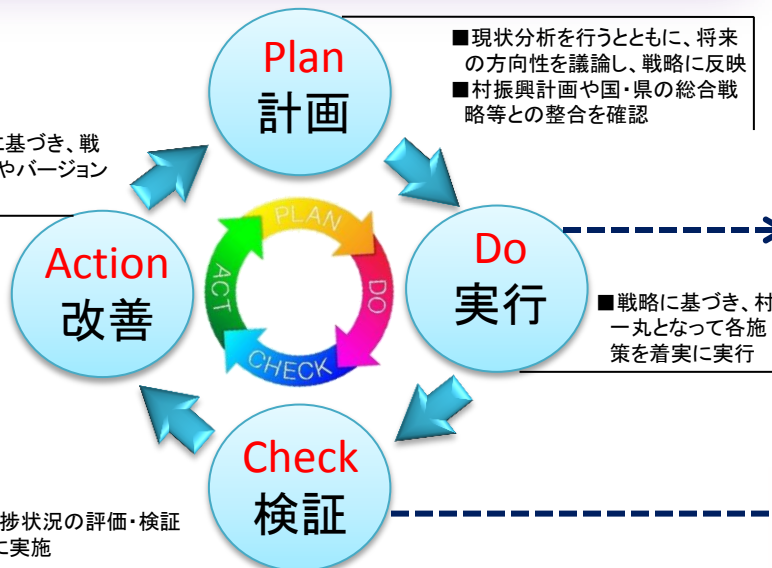
# 総合戦略の効果的な推進

## 実行に当たってのポイント

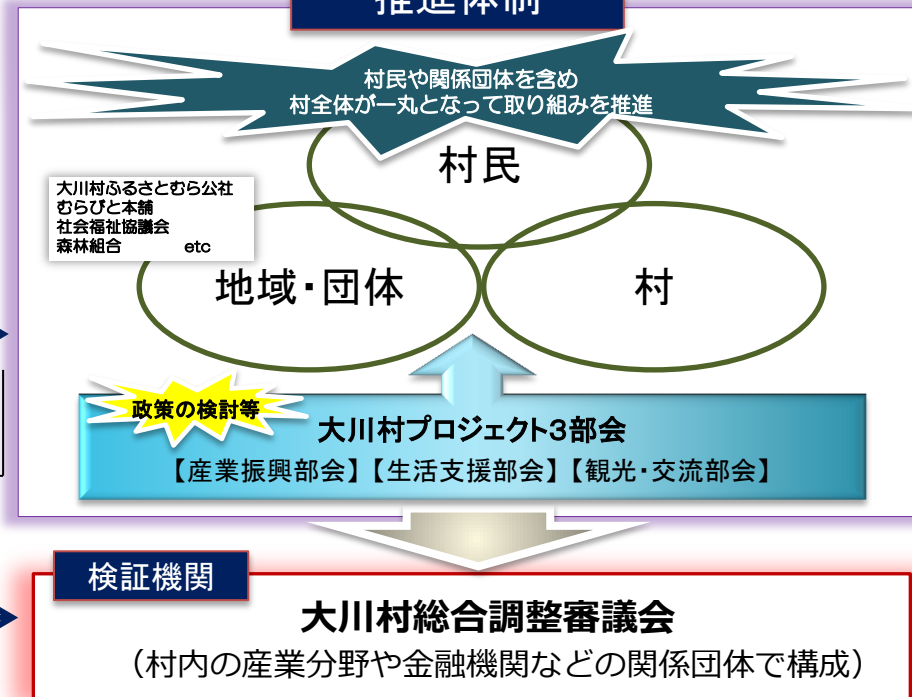
- 様々な団体・組織との連携
- 小さな村だからこそ可能な自助・共助の仕組みづくり
- 既存システムにとらわれない新たな仕組みの導入
- 既存の第三セクターの機能拡大
- 県と連携・協調した取り組み

大川村プロジェクトの推進

## PDCAサイクルによる徹底した進捗管理



## 推進体制



# まち・ひと・しごと創生に向けた取り組み【大川村プロジェクト】

## 大川村振興計画

### 計画期間

平成25年度～平成34年度

### 基本理念

- 最重要指標  
**人口400人の維持**

### ●施策展開

#### ①自然動態の増加促進

男女の出会いの場の創出や、子育て支援の充実による出生率の上昇

#### ②自然動態の減少抑制

高齢者の健康増進対策の推進と生きがいづくり

#### ③社会動態の増加促進

- ・Uターンによる若者定住と子育て支援や教育環境の充実
- ・地域産業の振興による雇用の促進

大川村まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン & 総合戦略

実行

## 産業振興

### 村と県で3つの部会を設置し、取り組みを推進

#### 畜産業（土佐はちきん地鶏、大川黒牛）の振興による雇用の創出

##### 全体計画

##### ● 土佐はちきん地鶏・大川黒牛の生産・販売の拡大

- ・鶏舎の拡張（増設）、牛舎の改築
- ・食鳥処理・加工場の建設
- ・新たな加工商品の開発
- ・首都圏等への販路の拡大



##### 実行に当たってのポイント

- 様々な団体・組織との連携

- 小さい村だからこそ可能な自助・共助の仕組みづくり

- 既存システムにとらわれない新たな仕組みの導入

- 既存の第三セクターの機能拡大

- 県との連携・協調

地域産業の振興と雇用の創出

安全・安心な生活環境の確立と集落の活性化

交流人口の拡大と移住・定住の促進

住んで良かった・住んでみたい大川村の実現

人口400人を守る

## 生活支援

#### 生活交通や生活物資等の確保の仕組みづくりによる生活環境の充実

##### 全体計画

小さな拠点

##### 集落活動センターの開設

##### ● 食の確保

- ・小中学校、保育園、高齢者等への給配食
- ・地産地消による食材供給のシステムづくり



##### ● 移動手段・生活物資の確保（買い物支援）

- ・移動手段の充実やコンビニ・物資配送の仕組みづくり



#### 地域資源を活用した観光交流施策による観光振興・交流人口の拡大

##### 全体計画

##### ● 新たな観光コンテンツの構築

- ・山岳、湖面等の地域資源を活用した観光イベント・ツアー等の実施や合宿等の誘致



##### ● 既存のネットワークを生かした交流人口の拡大

- ・どんぐり銀行、ふるさと留学、謝肉祭等の活用による情報発信

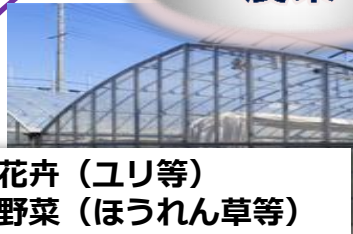
##### ● 大川村の新たなファンづくり

- ・大学等との連携



## 観光交流

## 農業



生産・販売  
の拡大

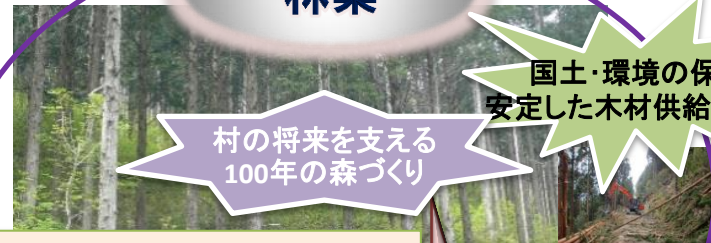
花卉（ユリ等）  
野菜（ほうれん草等）

- ・生産農家及び品目の拡大
- ・学校給食等への食材供給 etc

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- 農家数：71戸
- 農業産出額：1,300千円
- 耕作放棄地：72a以下
- 新規就農者数：3人

## 林業



国土・環境の保全  
安定した木材供給と活用

村の将来を支える  
100年の森づくり

- ・村有林化の推進
- ・林業人材の確保・育成
- ・木質バイオマスの利用や木材加工品の生産 etc

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- 搬出材積：10,000m<sup>3</sup>
- 新規雇用者数：3人

## 畜産業



土佐はちきん地鶏、大川黒牛

- ・鶏舎の拡張、牛舎の改築
- ・食鳥処理・加工場の建設
- ・新たな加工商品の開発
- ・首都圏等への販路開拓 etc

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- <土佐はちきん地鶏>
- 出荷羽数：12.5万羽
  - 新規雇用者数：12人
- <大川黒牛>
- 出荷頭数：72頭
  - 新規雇用者数：3人
- 等

生産・販売  
の拡大

## 観光業



山岳（平家平、大座礼山、三ツ森山、野地峰等）  
早明浦ダム湖面

- ・地域資源を生かした新たな観光コンテンツの構築
- ・既存ネットワークを生かした村の積極的なPR etc

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- 白滝の里入込客数：15,000人
- 等

観光振興  
交流人口の拡大

各産業間の取り組みの循環  
により相乗効果を発揮

雇用創出等による人口増へ



# 畜産の振興に向けた取り組みの概要

## 現状と課題

### 土佐はちきん地鶏



#### 現状

(H25年度実績)

- 出荷羽数：約5.6万羽
- 育成率：92%
- 出荷体重：2.7kg
- 飼料要求率：3.3

#### 課題

- 生産の安定化（育成技術・生産効率の向上等）
- 生産拡大に向けた施設整備（増設等）
- 販売拡大に向けた体制強化と戦略づくり
- 村内での加工品づくり・新商品開発

運営団体

(株)むらびと本舗  
(一社)大川村ふるさとむら公社

### 大川黒牛



#### 現状

(H25年度実績)

※繁殖牛頭数及び肥育頭数は、家畜頭数調査数値 (H26.2.1現在)

- 繁殖牛頭数：54頭
- 肥育頭数：97頭（うち子牛頭数：39頭）
- 出荷頭数：37頭

#### 課題

- 生産の安定化
- 生産拡大のための施設整備（改築等）
- 販売拡大に向けた体制強化と戦略づくり（生産・流通一貫体制の構築等）

生産・販売の拡大に向けて

## 今後の取り組みと展開



重要業績評価指標  
(2019年度KPI)

<土佐はちきん地鶏>  
■出荷羽数：12.5万羽  
■新規雇用者数：12人

将来的には

生産現場を村内各地に拡大し、出荷羽数20万羽と更なる雇用創出を目指す！

プラスのスパイラルにより好循環を実現

生産拡大

販売拡大

収入増加

雇用拡大

村の活性化

人口400人の維持

販売戦略の策定

積極的な営業活動

ブランドの確立による販路拡大へ



重要業績評価指標  
(2019年度KPI)

<大川黒牛>  
■出荷頭数：72頭  
■新規雇用者数：3人



# 大川村100年の森づくり

## 林業立村

「100年後も村を支える森づくり」を目指す

### 目的

- 森林の公益的・多面的機能の促進（国土の保全、水源涵養、地球温暖化の防止等）
- 村の活性化（産業の振興、雇用促進）

### 積極的な事業展開

皆伐、収入間伐、植栽、保育、上下交流、環境整備、木質バイオマス etc

地域産業の振興・雇用の促進

安定的・効率的な供給体制の構築

林業を支える人材の確保・育成

## 大川村100年の森事業計画【5つのテーマと基本理念】

大川村森林組合

### テーマ1

#### 自然に親しむ森

自然環境に配慮した施業を推進

第1ブロック：朝谷・小松・船戸

目指す姿

- ①「香川県交流の森」「ベネリックの森」「ピーターラビットの森」など外部との交流の森を整備
- ②登山道の草刈を毎年行い、新たな登山道を整備
- ③自然景観等を重視した森林の整備
- ④零細な面積を持つ不在村森林所有林を村有化



### テーマ2

#### 林業経営の森

循環型森林経営で木材搬出を推進し、担い手を育成

第2ブロック：大北川・高野

目指す姿

- ①施行集約化及び林業技術の向上により採算性が向上し、林業経営林から安定的に木材を供給
- ②集約化された森林の新植等の保育事業が進み、循環型の林業経営を実施
- ③地域材の付加価値を高めるため使用目的に応じた供給先を確保
- ④大北川溪谷を遊び場とした都市との交流の場を開設



### テーマ3

#### 水源を保つ森

水源の涵養を推進

第3ブロック：川崎・高野

目指す姿

- ①広葉樹の整備を推進
- ②整備された森林から水が湧き出る
- ③林道を利用した木材搬出を実施



### テーマ4

#### 集約化の森

集約化により木材搬出を推進

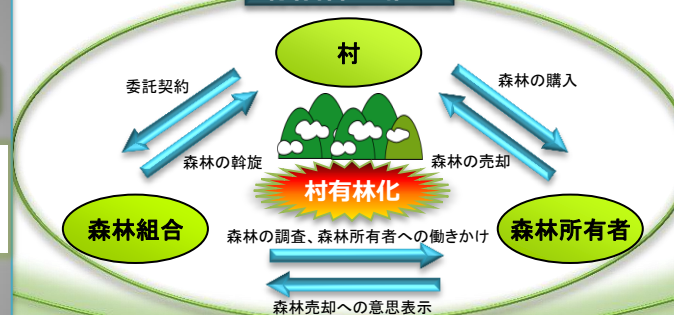
第4ブロック：井野川・大平・小麦畝・小北川・大藪

目指す姿

- ①村有林化を推進により村有林となった山を中心に周りの山林所有者との集約化を進め、木材搬出事業を実施して循環型の林業経営を実施



#### 村有林化の推進



先人から受け継がれてきた村内の山（森林）を今後も守り、育て、将来世代に受け継いでいくため、不在村地主所有林や管理できなかった森林等の村有林化を進め、村が長期的に管理していく

### テーマ5

#### 長伐期施業の森

長期委託により長伐期施業を推進

第5ブロック：中切・下小南川・上小南川・南野山・下切

目指す姿

- ①長期委託地区が広がり集約化施業が進む
- ②村有化の推進で村有林が広がり木材搬出面積が広がる
- ③整備された森林が広がる



# 観光振興と交流人口の拡大に向けた取り組みの概要

## 現状と課題

おおざれやま のじみね へいけだいら  
大座礼山、野地峰、平家平等の  
山岳や早明浦ダム湖畔など、水  
と緑に囲まれた豊かな自然

大川村の多彩な資源！

土佐はちきん地鶏や大川黒牛  
など、全国に誇る特産物

自然王国白滝の里(自然教育  
センター白滝、キャンプ場等)と  
いう自然体験・交流の場

ふるさと(山村)留学、どんぐり  
銀行、ふるさと小包、謝肉  
祭、白滝ふるさとまつりな  
ど、村外との交流のチャンネ

大川村が持つこうした資源を十分に活用できていない状況

## 取り組みの強化

### 新たな観光コンテンツの構築



Point

日本一小さな村という象徴的な村の存在や地域資源を最大限生かしながら、新たな  
取り組みを組み合わせた魅力的な観光コンテンツを構築し、観光客を呼び込む

・ロゲイニング  
・山岳  
・早明浦ダム湖面  
・白滝の里 等

#### ○ロゲイニング

・ロゲイニングを活用した企業・教育研修等の誘致  
＜観光商品としての磨き上げ＞

#### ○山岳

・登山コースの整備(登山道、案内板)  
・登山客の呼び込みに向けた魅力的な宿泊プランの実施

#### ○早明浦ダム湖面

・湖面を生かしたイベント等の実施

### 既存ネットワークの活用



Point

既存の交流ネットワークチャンネルを生かした効  
果的な情報発信

・ふるさと留学  
・どんぐり銀行  
・ふるさと小包  
・謝肉祭 等

#### ○OHPのリニューアル

○既存ネットワーク情報のデータベース化

○交流イベント等による交流の実施

・同窓会・植樹祭等での交流活発化

○大川村FB等の実施

・大川村の各種イベント等への協力依頼等

### 新たな大川村ファンづくり



Point

大学等との連携による新たな大川村のファンづくり  
とネットワーク化

・インターンシップ等  
(大学等との連携)

○県内大学等の地域活性化の取り組みとの連携

(大川村をフィールドに活動)

⇒ 新たな大川村ファンとのネットワークづくり

新たな観光イベント等の定着

大川村ファンづくりとその囲い込み

観光振興・交流人口の拡大による地域の活性化

移住・定住促進による村の再生

住んで良かった・住んでみたい大川村の実現

人口増



村外・県外



都市部等

移住・定住の促進

大川村



Point 1

産業振興の取り組みを積極的に展開し、担い手となる人材を呼び込む

農業



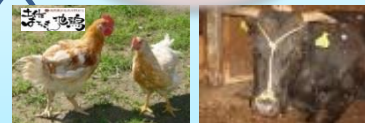
花卉（ユリ等）  
野菜（ほうれん草等）

林業



村の将来を支える  
100年の森づくり

畜産業



土佐はちきん地鶏・大川黒牛

担い手の確保が課題

移住促進の取り組みのステップ

STEP 1

大川村を知ってもらい、好きになってもらう

村の魅力を情報発信

STEP 2

移住に関心をもってもらう

具体的な移住方法を提案

STEP 3

移住に向けた行動を起こしてもらう

移住相談、住居・仕事の斡旋

STEP 4

移住について真剣に考えて決めてもらう

受入サポート

STEP 5

大川村に安心して住み続けてもらう

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- 村外からの移住者数：66人  
(雇用・就業による転入者数を含む)
- ふるさと村民数：170人
- 山村留学者数：年間15人等

Point 2

交流の推進により大川村ファンを増やし、移住へとつなげる

各種のネットワーク  
を生かした交流

- ・どんぐり銀行
- ・白滝ふるさとまつり
- ・ふるさと小包
- ・謝肉祭 等

- ・県内外の大学等  
(大学生と地域との交流)

山村留学

大川小中学校



村営住宅の整備



小松住宅

その他の村営住宅も建替や改修を推進

空き家の改修



子どもが健やかに育つための環境づくり

地域全体で子どもを育てる社会づくり

- ・妊婦検診費用の助成
- ・医療費助成の拡大
- ・保育料の無料化
- ・給食費の無料化
- ・地域の中で子どもを育てる気運づくりと支援体制の確立 etc

男女の出会いの機会づくり

- ・出会いのきっかけづくり
- ・婚活サポーターづくり
- ・青年団等社会教育団体への支援 etc

豊かな自然の中で子どもたちを育む

確かな学力向上を目指す学校教育の推進

小中一貫教育の推進

大川村立大川小中学校

小中一貫校

知  
徳  
体

地域と連携した教育の推進

コミュニティスクール

平成24年度からスタート

山村留学制度の推進

大川村ふるさと留学

県内外から多くの子どもたちが留学

強い子を育てる幼児教育の推進

保小中の連携教育への取り組み

生きる力の基礎を養育

保小中連携による子どもの育成

高齢者の生きがいづくり

高齢者の社会参加の推進

- ・あったかふれあいセンター事業「集いの場」の充実
- ・老人クラブへの支援
- ・人材センター匠会への支援
- ・学校給食等の食材づくりへの参加促進 etc

重要業績評価指標  
2019年度KPI

- 婚姻数：7組
- 保育園児数：12人
- 青年団員数：33人

等

出生数の増加へ！

村民みんなで子どもを育て  
支え合う村づくりを推進

生きがいを持って  
暮らせる村へ！



- 集落活動センター雇用者数：5人
- 集落支援員の委嘱数：3人
- インターネット環境：  
最大速度100Mbps、加入率35% 等

機能1

食の提供

学校給食（大川小中学校）

保育園給食（つぼみ保育園）

高齢者等配食（デイサービスの食事含む）（村民）

食堂（観光客等）

憩いの場（村民等）



小さな拠点

人と人、集落と集落、村と外とのつながり「結い」の拠点

大川村集落活動センター  
結いの里

活動拠点施設



旧「村のえき」（元保育所）



「総合福祉センター」



各部落「集会所」



「小松診療所」

機能3

農産物・特産品等の販売

村内で生産された農林産物・特産物の加工・販売

- ・土佐はちきん地鶏、大川黒牛（生肉、加工品）
- ・地域の伝統的産品
- ・野生鳥獣肉（シカ、イノシシ）
- ・野菜、山菜、花卉、木製品 等

食鳥処理・加工場  
（H28建設予定）

機能4

観光・交流の情報発信等

- ・山岳・ダム湖面等を活用した観光・交流の取り組みの情報発信・実施
- ・大川村ファンづくり（SNS、インターンシップ等）
- ・移住支援（空き家・耕作放棄地の把握、情報提供等）

宿泊・体験交流



「自然教育センター白滝」

機能5

その他の生活支援

- ・高齢者の見守り、居場所づくり
- ・緊急時の送迎、よろず相談
- ・飲料水等供給施設（水道等）の維持管理
- ・野生鳥獣防止対策（防護柵の設置等） 等

機能2

生活物資の提供（買い物支援）

商店・コンビニ的機能  
（食料品、日用雑貨の販売）



生活用品・農産物等の配送・集荷



各家庭へ

農産物の集荷

商品の集荷

J A  
地元商店

店舗への  
立ち寄り

診療所バス、福祉バス

<運営主体（運営組織）>

大川村集落活動センター 結いの里 運営協議会

<運営体制（構成団体等）>

- ・地域住民（部落自治会、青年団、農業集団、PTA等）
- ・一般社団法人大川村ふるさとむら公社
- ・株式会社むらびと本舗 ・大川村社会福祉協議会
- ・J A土佐れいほく大川支所 ・大川小中学校
- ・大川村森林組合 ・協同組合木星会 等

<運営事務局・サポート>

- ・一般社団法人大川村ふるさとむら公社
- ・地域おこし協力隊、集落支援員 等

村民や関係団体等が一体  
となった村づくり



# 大川村における学校給食等の仕組みづくり

## 現状と課題

- 給食施設が村外にあることから、子どもたちに温かい食事が提供できていない
- 災害等による道路遮断で欠食の恐れがある
- 村内で生産された農作物を村内で消費する仕組み（地産地消）が確立されていない
- 将来に向けて高齢者等の配食サービスの検討が必要 等

村の将来を担う子どもたちのために  
村民一丸となった取り組みが必要

## 村内での地産地消による 学校給食等の実施

## 効果

- 農家・地域住民の所得の向上
- 高齢者等の生きがいづくり
- 子どもの育成への村民の参加意識の醸成
- 地産地消の取り組みによる食育の普及促進
- 村民と学校とのつながり・交流の深まり
- 雇用の創出（調理員等）

給食費を無料化（村が負担）  
しても大きな効果！

等

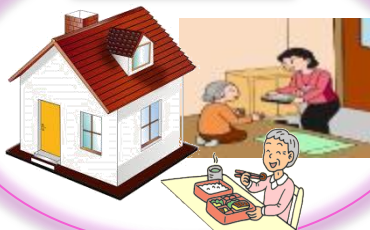
## Point

地域全体で子どもを育てる

村民の生きがいづくり

村内で物を循環させる

## 高齢者等自宅



見守り



大川村社会福祉協議会

連携

## 大川小中学校



## 学校給食

## 大川村集落活動センター 結いの里



保育園の給食

## つぼみ保育園



運営を主導



大川村ふるさとむら公社

地産地消による給食実施  
（村全体で子どもを育成）

子どもの成長

将来の村を支える人材へ

村の活性化

食材の提供

食材の提供

活動への参加

調理

食材の提供

## 農家



## 農業集団

米、野菜（ほうれんそう、ピーマン等）

連携

野菜等の  
計画的な栽培

## 地域住民



米、野菜、山菜、漬け物、地域の伝統的加工品等

連携

## むらびと本舗



土佐はちきん地鶏、大川黒牛